

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和 8年 3月 20日

団体名 アロハの会

代表者 今村 薫

構成員 15人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

- ① ウクレレ演奏を通して地域の文化団体・町づくり団体との連携・交流を深める ②地域のイベントでハワイアン音楽の振興に努める ③訪問ボランティア活動を行う ①～③をもって地域の文化交流、福祉の増進に資することを目的とする

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
毎月1・3木 (年間24回)	西部地域交流センター	受講者	1回20人 のべ480人	ウクレレ講座を開催し、演奏の楽しさ、ウクレレの魅力を広めた
4月27日	西部地域交流センター	来場者 出演者	250人	第8回「アロハの集い」主催し、ウクレレとフラの魅力を発信、地域の活動団体に発表の場を提供した
5月31日以降 年間8回	西部地域福祉センター 他	デイサービス利用者	1回40人 のべ320人	デイサービスでボランティア演奏をし、利用者の心身の活性化を促進

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

会員、受益者ともに高齢者中心の活動です。みんなでウクレレを演奏し声を合わせて歌うことが、仕事や子育ての第一線を退いた後の生活を明るく前向きにします。さらに自らの演奏が施設やイベントなどで必要とされ、喜んで頂けることで、地域社会で活動する喜びを感じます。超高齢化社会の中で、高齢者自身も地域に貢献し福祉の担い手となることを目指し、日々心身の健康を維持し社会活動する応援ができたと思います。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 ③ 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

デイサービスからの訪問演奏の依頼が多く、前年度同様、可能な限り対応し利用者の生活を活性化の一助となった。「アロハの集い」ではハワイアンを愛する多くの市民が出演・観覧し交流できた。